

令和4年度

一般社団法人
福岡県ラグビーフットボール協会

総会資料



日時 令和4年 5月14日（土） 17時～
場所 福岡中央銀行 本店 7階 大会議室

(一社)福岡県ラグビーフットボール協会

次 第

1 開 会 の 辞

2 会 長 挨 拶

3 後 援

「誰もがラグビーを楽しめる社会の構築に向けて」

講師 堀内 恭彦 氏

(一社)福岡県ラグビーフットボール協会理事、弁護士

4 議 長 選 出

5 議 案

(1) 令和3年度 事業報告

(2) 令和3年度 収支決算報告

(3) 理事改選(案)

(4) 令和4年度 事業計画(案)

(5) 令和4年度 収支予算(案)

(6) その他

6 閉 会 の 辞

令和3年度 事業報告

1 総会

令和3年5月30日(日) オンライン開催

2 令和3年度登録チーム数(令和4年3月31日現在)

	大学	高専	高校	中学	少年	社会人	クラブ	女子	計	前年比
チーム登録数	17	3	47	8	25	15	21	4	141	1
個人登録数	615	82	1,353	154	3,296	656	890	79	7,125	27

3 理事会

5月・7月・8月・9月/11月・2月・4月に開催(年9回)

※11月に「一般社団法人」を取得。以後法人理事会へ移行

4 企画委員会

- 1) 第1回委員会 5/30 県協会事務所会議室
 - ① 令和3年度総会について
 - ② その他

- 2) 第2回委員会 6/24 県協会事務所会議室
 - ① 「さわやかスポーツ広場の存続について」その後の経過と今後の取り組み
 - ② 国体第41回九州ブロック大会について
 - ③ FRFU第2回理事会について
 - ④ その他

- 3) 第3回委員会 9/19 県協会事務所会議室
 - ① 福岡県協会の法人会について
 - ② FRFU第4回理事会について
 - ③ その他

事業総括

企画委員会では、当協会の重要案件について、審議検討を行った。
令和3年度は、当協会において大きく変革の年であった。
主な取り組みは以下の通りである。

- 1, 前会長のご逝去に伴い、新会長の選任を総会の議決をもって決定した。
- 2, コカ・コーラレッドスパークスの廃部に伴う、さわやかスポーツ広場の存続と継続使用の要望に取組んだ。
- 3, 当協会の一般社団法人格を取得したこと。
- 4, 宗像サニックスブルースの活動休止に伴う、チーム存続に向けた取り組みを検討。

5 総務委員会

総務委員会としての開催はなかったが、企画委員会の事業総括にも記載した、当協会の重要案件対応のため、理事長、書記長、会計役を中心に活計会議を開催した。

内 容

- 1) COVID-19感染症の感染拡大に伴うラグビー活動、公式戦のあり方についての検討
- 2) コカ・コーラレッドスパークスの廃部に伴う、さわやかスポーツ広場の存続と継続使用の要望活動
- 3) 法人化に関する検討
- 4) 宗像サニックスブルースの活動休止に伴う、チーム存続に向けた取り組みを検討。
- 5) ガバナンスコード整備に伴う、アンケート調査、研修参加(JRFU、福岡県スポーツ協会)
・JRFUガバナンスコードハンドブックが提示された。
- 6) 各種表彰に関する候補者推薦に関すること

会議、取組み

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大下におけるラグビー継続の取組み
- さわかスポーツ広場存続、継続使用を要望する取組み
- 法人格取得のための取組み
- 宗像サニックスブルース休止に関する取組み

事業総括

令和3年度は、当協会にとっては、まさに激動の1年となった。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波が訪れる度に、公式戦の開催の可否、グラウンド調整とその活動継続について検討し対応してきた。
そうした中、令和3年度の総会では、新会長の選任議案が承認され、新たな体制での協会運営がスタートした。
まずは、福岡のラグビーをけん引してきた「コカ・コーラレッドスパークス」が廃部となり、その活動拠点であるさわやかスポーツ広場が閉鎖となる恐れが生じたことから、福岡のラグビー普及の拠点でもある「さわやかスポーツ広場」を存続させ、継続利用できるよう、九州協会、日本協会とともに活動を行ってきた。
次に、永年懸案となっていた当協会の法人化を、11月に臨時総会を開催し、一般社団法人格を取得することができた。
次に、コカ・コーラレッドスパークスと同様に、福岡のラグビーをけん引してきた、「宗像サニックスブルース」が活動休止を決定したことから、チーム存続について協会できりができないか検討を行った。
それから、法人化に伴い、スポーツガバナンスコードの原則の一つである「組織運営に関する基本計画の策定」のために「FRFU未来プロジェクト」設置し、協議を進めている。

6 トップリーグ等主管試合実行委員会

事業

- | | | | |
|----|---|----------|-----------------|
| 1) | サニックスワールドラグビーユース交流大会2021 | 4/28～5/5 | グローバルアリーナ |
| | 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、中止。 | | |
| 2) | 令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会 | 8/27～29 | グローバルアリーナ |
| | 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、中止。 | | |
| 3) | 第58回全国大学選手権大会 2回戦 | | |
| | 福岡大学 21 - 36 朝日大学 | 11/28 | 博多の森陸上競技場 |
| 4) | NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022 開幕に向けた、地元2チームとホームタウンとの協議等準備活動 | | |
| 5) | サニックスワールドラグビーユース交流大会2022予選会 | 1/1～5 | グローバルアリーナ |
| | 国内 16チーム参加 | | |
| | 新型コロナウイルス感染症感染者発生に伴い、大会初日のみ開催で中止。 | | |
| 6) | NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022 DIVISION3 | | |
| | 第1節 九州KV 中止 中国RR | 1/15 | ベスト電器スタジアム |
| | 第1節 宗像B 中止 S愛知 | 1/16 | ミクニワールドスタジアム北九州 |
| | 第2節 宗像B 17 - 15 中国RR | 1/22 | グローバルアリーナ |
| | 第2節 九州KV 17 - 12 江東BS | 1/23 | 博多の森陸上競技場 |
| | 第3節 九州KV # - # 宗像B | 1/30 | ベスト電器スタジアム |
| | 第5節 宗像B # - 7 WG昭島 | 2/20 | 本城陸上競技場 |
| | 第8節 宗像B # - # 九州KV | 3/20 | ミクニワールドスタジアム北九州 |
| | 第9節 宗像B # - # 江東BS | 4/3 | グローバルアリーナ |
| | 順位決定戦第1節 九州KV # - # 中国RR | 4/24 | グローバルアリーナ |
| | 順位決定戦第2節 宗像B # - # 江東BS | 4/30 | グローバルアリーナ |

事業総括

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、サニックスワールドラグビーユース交流大会2021、サニックスワールドラグビーユース交流大会2022予選会、令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会が中止を余儀なくされたが、関係者のご尽力で、ラグビー文化を維持することができた。
大学選手権は、2回戦「福岡大学V朝日大学」戦を開催することができた。
また、今季よりジャパンラグビートップリーグから移行した、新リーグのNTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022が開幕し、本県からは、宗像サニックスブルース、九州電力キューデンヴォルテクスの2チームが参戦している。
両チームが所属するDIVISION3は、1月15日に福岡市のベスト電器スタジアムで九州電力キューデンヴォルテクスが、1月16日に北九州市のミクニワールドスタジアム北九州で宗像サニックスブルースの第1節が開幕するはずだったが、2試合とも、新型コロナウイルス感染症感染者の発生により中止となった。
その後福岡での開催では中止はなかったが、各地で中止試合も発生する中、チーム並びに運営関係者の尽力で、大会全体が中止なかったり、フォーマットを変えての開催に耐え、全日程を終えることができた。厳しい管理の下での開催となったが、ラグビー文化を減退させない効果はあったと思う。
しかしながら、シーズン途中で宗像サニックスブルースが、今季限りで活動を休止することが発表となり、福岡県のラグビー関係者に激震が走った。コカ・コーラレッドスパークスに続く、福岡県のトップ2チームの廃部、休部に関係者の困惑は拭えないがまた新たな動きとして、LEAGUEONEを目指すチームも生れており、福岡県のラグ

7 競技委員会

内 容

1) グラウンド利用状況視察 高校準決勝におけるグラウンド利用状況視察	11/10	ベスト電器スタジアム
2) グラウンド利用調整会議 筑後広域公園人工芝球技場利用調整会議	1/16	筑後広域公園体育館
3) グラウンド利用調整会議 福岡地区球技場等利用調整会議	2/1	ベスト電器スタジアム
4) グラウンド利用調整会議 久留米総合スポーツセンター陸上競技場利用調整会議	2/6	久留米スポーツセンター体育館アリー
5) 協議・打合せ 宇美町総合スポーツ公園陸上競技場利用に関する協議・打合せ		宇美町社会教育課
6) 競技委員会 グラウンド割り当て	2/19	福岡県協会会議室

事業総括

県協会主催試合、ならびに、九州・日本協会主催試合における競技全般の円滑な推進のための施設(競技場)の確保。
ラグビーフットボール競技に使用できる公共施設(競技場等)の利用調整。

8 広報委員会

事 業

1) 第43回福岡県中学生大会 動画・写真撮影・SNS	7/4~18	春日公園球技場他
2) 第4回福岡県女子中学生大会 動画・写真撮影・SNS	7/4	春日公園球技場
3) 第37回福岡県中学校大会 動画・写真撮影・SNS	6/27~7/18	春日公園球技場他
4) 2021九州アイランドセブンズ 動画・写真撮影・SNS	7/24~25	さわやかグラウンド
5) 高校ラグビー決勝放映交渉 11月 放送枠交渉	10月	
6) 福岡県高校大会 撮影・HP	10/10~11/20	各地
7) 第39回福岡県中学生新人大会 動画・写真撮影・SNS	10/31~12/5	各地
8) 第58回全国大学選手権大会 受付・メディア対応・撮影・SNS	11/28	博多の森陸上競技場
9) サニックスワールドユース予選会 受付・メディア対応・撮影・SNS	1/1	グローバルアリーナ
10) 高校新人大会10人制 受付・メディア対応・撮影・SNS	12/19、1/10	各地
11) 高校新人大会 撮影・SNS	1/9~2/6	各地
12) ナナイロセブンズ 撮影・SNS	2/27	さわやかグラウンド
13) LO第2節 受付・メディア対応・撮影・SNS	1/22	グローバルアリーナ
14) LO第2節 受付・メディア対応・撮影・SNS	1/23	博多の森陸上競技場
15) LO第3節 受付・メディア対応・撮影・SNS	1/30	ベスト電器スタジアム
16) LO第5節 受付・メディア対応・撮影・SNS	2/20	本城陸上競技場
17) LO第8節 受付・メディア対応・撮影・SNS	3/20	ミクニワールドスタジアム北九州

事業総括

① 新たな情報発信ツールを確保
福岡県スポーツ推進基金と連携を行い、動画配信を行うノウハウを取得する。基金の補助金やYoutubeの広告料確保を目指す。
⇒令和3年度動画配信実績は6件。(奨励金180,000円+広告料)
前期は広報委員で撮影を行ったが、後期は試合が重なり動画撮影に人員を割く事が難しかった。

② コンプライアンスの徹底
協会ガバナンス化に伴い、委員のための誓約書や秘密保持契約を整備する。
⇒協会の法人化に伴い、令和4年度に整備を行う。

③ 県協会HPリニューアル
デザインの刷新、CMSの導入を行い情報発信をスムーズに行えるようにする。更新スタッフの育成も行う。
⇒デザインの刷新を行った。CMS導入は次年度へ持ち越す。

④ 取材範囲の拡大
全てのカテゴリー、特に大学やクラブなどクローズアップされていないチームや大会をアピールする。
⇒コロナ禍の影響で試合数が減少したこともあり、取材をすることができなかった。

9 規律委員会

内 容

規律・コンプライアンス・インテグリティに関すること

協議案件

協議案件の発生がなかった。

事業総括

安全推進・インテグリティ講習会並びに、理事会等でコンプライアンス・インテグリティの順守については周知徹底を行い規律違反が生じないように、注意喚起を行なった。
本年度内に協議、指導等を要する案件は発生しなかった。
当協会も一般社団法人となったことから、スポーツガバナンスコードの確立を求められており、今後も、チーム・選手に対し規律・コンプライアンス・インテグリティの順守を徹底していく必要がある。

10 レフリー委員会

事業

- | | | |
|---|-----------|-------------|
| 1) C級レフリー実技テスト
C級レフリーの認定 | 8月～9月 | 福岡・うきは |
| 2) 九州レフリー委員長会議
事業・研修会打合せなど | 6月・12月・2月 | 福岡 |
| 3) 福岡県レフリー委員会
ルール伝達、研修会打合せなど | 7月・3月 | オンライン・協会事務所 |
| 4) 九州協会B級レフリー認定講習会
レフリー派遣 3名合格 | 11月～12月 | オンライン講義・実技 |
| 5) B級中堅・有望C級レフリー派遣
九州協会事業へのレフリー派遣・レベルアップ
アンダーアーマーカップ
ワールドユース予選 | 9月・1月 | グローバルアリーナ |
| 6) 25才以下レフリー研修
研修会 | 3/20・21 | 東福岡・浮羽究真館 |

事業総括

- C級筆記試験：例年の集合受講ではなくWRオンライン競技規則受講、合格証送付
- C級実技試験：8月～9月に高校練習試合にて実施：26名中22名合格(25才以下7名)
- 九州協会B級認定講習会：講義は3回に分けてオンライン受講、実技実施：木村、平尾、阿部の3名合格
- B級中堅、若手レフリーを中心としたグループをアンダーアーマーカップに派遣して九州協会コーチからコーチングを受けさせレベルアップを図った。
- 25才以下レフリー研修(3月)：高校練習試合を担当させてコーチング受講、モチベーションアップを図った

課題：育成活動の中での研修や勉強会を固定化してパスウェイを明確にする(特に若手発掘活動)

11 コーチ委員会

事業

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------|-------|
| 1) スタートコーチ資格認定講習会
オンライン開催 | 年間通して | オンライン |
| 2) JRFU A級コーチ養成講習会
オンライン開催 | 7/28～8/1 | オンライン |
| 3) JRFU B級コーチ養成講習会
オンライン開催 | 1/8・9・16 | オンライン |
| 4) コーチカンファレンス
オンライン開催 | 9/1～9/30 | オンライン |
| 5) 全国コーチ委員長会議
オンライン開催 | 9/11・11/13 | オンライン |
| 6) JRFU C級コーチエドゥケーター認定講習会
オンライン開催 | 3/13・20・27 | オンライン |
| 7) JRFUコーチング部門会議
オンライン開催 | 4/17・5/24・10/29 | オンライン |

事業総括

今年度もコロナのため、各コーチ資格講習会はすべてオンライン開催となった。
オンライン講習は、受講者同士の交流の機会が作りにくいなどのデメリットもありますが、様々な地域の指導者の方々が一緒に学びながら交流が生まれたことは大きなメリットとなっている。

12 中学委員会

事業

- | | | |
|---------------------------------|---------|-------------|
| 1) 第43回福岡県中学生ラグビーフットボール競技大会 | 5/4 | 舞鶴公園球技場 |
| 優勝 帆柱ヤングラガーズ | 5/5 | 春日公園球技場 |
| 準優勝 つくしヤングラガーズ | 5/9 | 舞鶴公園球技場 |
| 第3位 筑紫丘ラグビークラブジュニアスクール | 7/4 | 舞鶴公園球技場 |
| | 7/10 | 舞鶴公園球技場 |
| | 7/11 | 舞鶴公園球技場 |
| | 7/17 | 舞鶴公園球技場 |
| | 7/18 | 舞鶴公園球技場 |
| 2) 第4回福岡県中学生新人女子ラグビーフットボール競技大会 | 7/7 | さわやかグラウンド |
| 優勝 福岡レディースジュニア | | |
| 準優勝 リリーズ | | |
| 3) 第37回福岡県中学校ラグビーフットボール競技大会 | 6/27 | 舞鶴公園球技場 |
| 優勝 百道中学校 | 7/4 | 舞鶴公園球技場 |
| 準優勝 城南中学校 | 7/18 | 春日公園球技場 |
| 第3位 次郎丸中学校 | | |
| 4) 福岡県代表選手選出 | 8/8 | 舞鶴公園球技場 |
| 男子 21名選出 | 8/15 | 春日公園球技場 |
| 女子 16名選出 | 8/21 | 舞鶴公園球技場 |
| | 8/22 | 舞鶴公園球技場 |
| 5) 第39回福岡県中学生新人ラグビーフットボール競技大会 | 10/31 | 舞鶴公園球技場 |
| Aパート | 11/3 | 舞鶴公園球技場 |
| 優勝 鞆ヶ谷ラグビースクール | 11/7 | 舞鶴公園球技場 |
| 準優勝 りんどうヤングラガーズ | 11/14 | 舞鶴公園球技場 |
| 第3位 玄海ジュニアラグビースクール | 11/21 | 舞鶴公園球技場 |
| | 11/23 | 舞鶴公園球技場 |
| Bパート | 11/28 | 中鶴ラグビー場 |
| 優勝 合同2(京築・筑豊) | 12/5 | 中鶴ラグビー場 |
| 準優勝 みやけヤングラガーズ | | |
| 第3位 帆柱ヤングラガーズ | | |
| 6) 福岡県選抜練習会 選抜大会 | 10月 | 熊本 |
| 男子 九州・全国大会優勝 | 10月～12月 | 各高校 |
| 女子 九州・全国大会優勝 | 12月下旬 | 東京 |
| 7) 九州電力杯 第22回福岡県中学生セブンズラグビー競技大会 | 2/14 | 九州電力香椎グラウンド |
| 中止 | | |
| 8) 第36回福岡県中学校新人ラグビーフットボール競技大会 | 3/6 | 春日公園球技場 |
| | 3/13 | 舞鶴公園球技場 |
| | 3/20 | 舞鶴公園球技場 |

事業総括

- 主催大会は日程変更は余儀なくされたが、感染症対策を徹底して実施ができた。
 ○強化事業では、男女ともに全国大会で優勝ができた。
 ○女子大会の継続的な実施ができていない。

13 普及育成委員会

事業

【ミニ】

- | | | |
|---------------------------|----------------|-----------------|
| 1) ウェールズカップ | 4/17 | ミクニワールドスタジアム北九州 |
| 2) 第22回ちびっ子ラグビー交流大会 【中止】 | 6/13 | 雁ノ巣グラウンド |
| 3) 北九州ラグビー祭 【中止】 | 6/20 | 本城競技場 |
| 4) 北九州市民体育祭 | 10/17 | 本城競技場 |
| 5) 福岡市総合スポーツ大会 【中止】 | 10/17 | さわやかスポーツ広場 |
| 6) 第42回福岡県小学生ラグビーフットボール大会 | 10/31, 11/7・14 | 春日公園球技場他 |
| 7) MRR認定講習会 | 11/27 | グローバルアリーナ |
- レフリー委員会と合同で開催。22名受講

- | | | | |
|-----------------|------|------|------------|
| 8) 第33回小学生新人大会 | 【中止】 | 2/28 | さわやかスポーツ広場 |
| 9) 小学生卒業フェスティバル | 【中止】 | 3/27 | さわやかスポーツ広場 |

【タグ】

- | | | | |
|------------------------------|--|-------|-----------|
| 1) タグラグビー指導講習会 教職員向け | | 7/29 | |
| 2) タグラグビー指導講習会 スクール指導者向け | | 8/1 | |
| 3) 第18回全国小学生タグラグビー選手権大会福岡県大会 | | 11/28 | 筑後広域公園球技場 |
| 優勝 福岡キッズ | | | |
| 準優勝 フェニックスジュニア | | | |
| 4) 福岡県タグラグビーフェスタ | | 12/13 | 平和台陸上競技場 |

事業総括

昨年度に続き、殆どの事業が中止せざるを得ない状況の中で、県大会は規模を縮小しながらではあるが、開催できた事は大変良かったと思う。また初めてレフリー委員会と一緒に、新MO制度でのMRR認定講習を開催。22名の受講があった。今後も更にMRRの育成に繋がって行きたい。

タグにおいても新型コロナの影響で当初9月中旬に予定していたタグフェスタは12月に延期し開催した。参加者は小学校1年生～大人までで参加人数146名。また昨年度上位大会が中止となった第18回全国小学生タグラグビー選手権大会福岡県大会の開催を筑後広域公園球技場で開催を行った。(参加54名)優勝は福岡キッズ、準優勝はフェニックスジュニア。2チームは九州大会に出場し、福岡キッズは4位だった。

新型コロナの関係で例年に比べて参加人数、チームとも少なかった。

また、学校の先生向けにタグ研修会を7月29日に実施(参加約50名)、スクールコーチ向けの講習会を8月1日実施(参加約30名)した。個別にラグビースクール(2チーム)を訪問し研修会を実施した。スクール向けの指導者に対して講習会を今後も実施していきたい。

14 安全対策委員会

事業

- | | | |
|----------------------|-------|-------------|
| 1) 安全・インテグリティ推進伝達講習会 | 2月 | オンライン(日本協会) |
| 2) 安全・インテグリティ推進講習会 | 3月～5月 | オンライン(日本協会) |
| 3) セーフティアシスタント認定講習会 | 7月 | オンライン(日本協会) |

事業総括

本委員会の事業である①安全・インテグリティ推進講習会、②SA認定講習会 とともに日本協会によるオンライン講習会として開催された。コロナ感染防止対策も、国・県、日本協会の通知・連絡事項を各チームに伝達する役割に終始した。事業総括は、各委員会主催の大会時のコロナ対策等へのチェック機能にとどまり委員会活動は低調な一年間と言わざるを得ない。

15 社会人委員会

事業

- | | | |
|------------------|---------|--|
| 1) 福岡県クラブ連盟総会出席 | 3/27 | |
| 2) 福岡県協会総会・理事会出席 | 5/30 | |
| 3) 福岡県クラブリーグ戦 | 10月～11月 | |

事業総括

- ・福岡県社会人ラグビーの普及活動
- ・福岡県クラブラグビーリーグへの参戦及び活性化

16 クラブ委員会

事業

- | | | |
|----------------------------------|------------|----------|
| 1) クラブ連盟総会 | 3/27 | 福岡県協会事務所 |
| 2) 第1回理事会 | 7/2 | 福岡県協会事務所 |
| 3) 第2回理事会 | 8/6 | 福岡県協会事務所 |
| 4) 第3回理事会 | 8/21 | リモート |
| 5) 公式戦前打ち合わせ会議 | 8/28 | リモート・対面 |
| 6) 秋季クラブリーグ戦 | 9月～11月 | 各会場 |
| Aリーグ優勝 福岡名島ブルズ (全九州クラブ・実業団大会へ推薦) | | |
| Bリーグ優勝 福岡市消防局 | | |
| Cリーグ優勝 福岡県警察 | | |
| 7) 全九州クラブ・実業団大会 福岡名島ブルズ出場(一回戦敗退) | 11月 | 熊本県八代市 |
| 8) 九州トップクラブリーグ(福岡県) | 10/10～12/5 | 各会場 |
| 参加チーム(福岡かぶと虫クラブ・玄海タンガロア・帆柱クラブ) | | |
| 福岡かぶと虫クラブは3位で全国大会へ | | |

9) 第4回理事会	9/12	リモート
10) 第5回理事会	10/12	リモート
11) 第6回理事会	12/8	福岡県協会事務所
12) 第7回理事会	3/4	福岡県協会事務所

事業総括

秋季リーグ戦を行いました。コロナ影響で出場出来ないチームが有り、優勝チームを自動昇格とし、入替戦は行わなかった。
クラブチームに関しては、試合のグラウンド(芝)・練習場の確保が十分ではなく、グラウンドの確保に課題が残った。

17 大学・高専委員会

事業

【大学】

1) <会議・講習会関係>		
第1回県学生会議	6/26	福岡県協会 会議室
公式戦日程調整会議		
第2回県学生会議	10/2	福岡県協会 会議室
公式戦前会議		
第3回県学生会議	12/18	福岡県協会 会議室
公式戦結果確認及び反省事項確認		

事業総括

新型コロナウイルスの感染拡大により、各大学の部の活動事態が難しく全チーム新入部員の確保が厳しい状況であり、公式戦の参加を辞退するチームが4チームあった。
新型コロナウイルスの影響により、当初リーグ戦を予定していたが、時期を遅らせトーナメント方式とした。
また、他県の状況も厳しく、九州学生3部優勝決定戦(九州地区対抗大学大会)に参加するチームが沖縄県と佐賀県だけとなり、福岡県予選に参加することで大会を成立させた。
九州学生3部優勝決定戦(九州地区対抗大学大会)の結果、1位名城大学(沖縄県)、2位九州歯科大学、3位北九州市立大学、4位久留米大学、5位九州工業大学、6位佐賀大学となった。
来年度から九州学生リーグの編成(予定)により、福岡県大学リーグを9チームで行う可能性がある。

18 高校委員会

事業

1) 第74回全九州高等学校ラグビーフットボール大会県予選		
1回戦～3回戦 【5/9～無観客試合】	4/25～	各高校
4回戦	5/16	グローバルアリーナ・各学校
準々決勝	5/23	本城運動場・修猷館高校
準決勝	5/29	春日公園球技場
決勝・3決	6/6	春日公園球技場
1位 東福岡		
2位 筑紫		
3位 修猷館		
4位 東海大福岡		
2) 第8回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選		
予選リーグ	5/29・30	本城陸上競技場・筑後広域公園他
決勝トーナメント	6/12	春日公園球技場
1位 東福岡		
2位 修猷館		
3位 筑紫・東海大福岡		
3) 第101回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選		
1回戦～3回戦	10/10～	各高校
4回戦	10/31	筑後広域公園他
準々決勝	11/7	博多の森陸上競技場・本城陸上競技場
準決勝	11/14	ベスト電器スタジアム
決勝	11/20	春日公園球技場
1位 東福岡		
2位 修猷館		
3位 筑紫・東海大福岡		

4) 第44回全九州ラグビーフットボール新人大会県予選			
1回戦	1/9	筑後広域公園・修猷館高校	
2回戦	1/19	グローバルアリーナ・韃ヶ谷陸上他	
準々決勝 【無観客】	1/23	グローバルアリーナ・東福岡高校	
準決勝 【無観客】	1/30	春日公園球技場	
決勝・3決 【中止】	2/6	春日公園球技場	
		1位 東福岡	
		2位 修猷館	
		3位 筑紫	
		4位 東海大福岡	
5) 九州10人制大会県予選			
予選リーグ	12/19	各高校	
決勝トーナメント	1/10	本城陸上競技場・本城運動場	
		1位 嘉穂	
		2位 宗像	
		3位 輝翔館	
		4位 新宮	

事業総括

新型コロナウイルスの影響は大きく受けたものの、昨年は中止となった九州大会県予選大会、全国7人制県予選大会も無観客であったが開催することができ、全国大会県予選大会及び新人大会についても例年通り開催することができた。新人大会についてもベスト16以降の試合は全て無観客試合で実施した。新型コロナウイルスの感染対策を講じながら役員の先生方の協力のおかげで全大会が開催できたことが何よりよかった。重傷事故等なく安全に大会や各事業が実施できた。

また、福岡県での開催が予定されていた国民大会九州ブロック大会、第76回国民体育大会(三重県)は中止となった。国体は2年連続中止となったため非常に残念であったが、来年度に向けてまた強化を図っていきたい。第101回全国高校ラグビー選手権大会では福岡県代表の東福岡高校は全国3位という結果であった。

19 強化委員会

事業

1) 九州セブンズ	4月	熊本市
プレートトーナメント優勝		熊本県民総合運動公園ラグビー場
2) 令和3年度福岡県選手強化推進事業説明会	5月	WEB
WEB公開による周知		
3) 令和3年度福岡県選手強化推進事業前期ヒアリング	5月	福岡市
令和3年度の競技団体事業計画と選手強化方針の県への説明		福岡県庁
4) 強化練習	6月	宗像市
令和3年度国体候補選手による練習会①		SANIX玄海第二
5) 強化練習	7月	宗像市
令和3年度国体候補選手による練習会②		SANIX玄海第二
6) 強化試合	7月	宗像市
令和3年度国体候補選手による練習会②		SANIX玄海第二
7) 九州アイランドセブンズ	7月	福岡市
九州及び中四国エリアチームとの交流試合		さわやかスポーツ広場
8) 強化試合	8月	宗像市
九州ブロックメンバーを決定のうえ候補者全体での練習会		グローバルアリーナ
9) 第41回九州ブロック国体	8月	宗像市
新型コロナウイルス感染拡大のため中止		グローバルアリーナ
10) 強化練習	9月	福岡市
中止		
11) 第76回国民体育大会	10月	三重県
中止		熊野市運動公園
12) 令和3年度福岡県選手強化推進事業後期ヒアリング	2月	福岡市 福岡県庁
令和3年度競技団体事業の活動報告		
13) 強化練習	3月	宗像市
中止		グローバルアリーナ

事業総括

【令和3年度目標】

2種目3種別(7人制成年男子・女子、15人制少年男子)で代表権を獲得し男女総合得点第一位(4大会連続)を目指す

【重点事業】

福岡県強化推進事業およびトップアスリート・女性アスリート育成事業など適用される強化制度を十分に活用し本県代表チームの更なる強化を図る

令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大によって国民体育大会が中止となり、九州ブロック、本国体への出場は実現できなかった。このため付帯する事業を中止とし、県内各チームの動向を見据えながら次年度へ向けた再闘の準備を進めることとなった。

20 メディカルソサエティ委員会

事業

- | | | |
|------------|------|--------------|
| 1) 担架講習会 | 3/12 | 福岡医健スポーツ専門学校 |
| 2) 安全推進講習会 | 3/27 | 福岡大学 |

事業総括

マッチドクターの裾の尾拡大プロジェクトを開始した。
コロナ禍の合間を縫って担架講習会を開催した。

21 女子委員会

事業

普及事業(中学生)

- | | | |
|---------------------------|-----------|--------------------|
| 1) 第6回北部九州交流会 | 6/20 | 佐賀(中止) |
| 2) 神戸遠征 | 11/13~14 | 倉敷市(中止) |
| 3) 太陽生命カップ(九州予選) | 8/1 | 鯛生G |
| 4) 太陽生命カップ(全国大会) | 9月 | 水戸:K'sデンキスタジアム(中止) |
| 5) 第10回九州ガールズラグビーフェスタ | 12/5 | 長崎 |
| 6) SANIXセブズキャンプ | 3/12~13 | グローバルアリーナ |
| 7) Fukuoka sevens academy | 4月・7月・10月 | 福岡市内(中止) |

強化事業(高校生)

- | | | |
|---|----------|---------------|
| 1) SANIXワールドユース | 4月 | グローバルアリーナ(中止) |
| 2) オープンカップ | 8/1~4 | 長野県菅平 |
| 3) U18セブズ九州予選 | 8月 | 福岡市内(中止) |
| 4) 第4回U18セブズ全国大会 | 10/22~24 | 熊谷ラグビー場 |
| 5) 第10回九州ガールズフェスタ | 12/5 | 長崎 |
| 6) 横浜市カップ | 1/8~10 | 横浜市三ツ沢競技場 |
| 7) 第9回九州高校セブズ | 2/20 | 熊本 |
| 8) SANIXセブズキャンプ(成年) | 3/12~13 | グローバルアリーナ |
| 1) 北洋建設-Nanairo CUP KYUSYU WOMENS SEVENS 2022(国体) | 2/26~27 | 本城陸上競技場 |
| 1) 強化練習会 | 5月 | 中止 |
| 2) 強化練習会 | 7/24~25 | さわやかスポーツ広場 |
| 3) 九州ブロック国体 | 8/22~25 | グローバルアリーナ(中止) |
| 4) 三重国体 | 10/1~2 | 三重県鈴鹿市(中止) |

事業総括

*普及事業

前年に引き続き「新型コロナウイルス感染防止策」により、体験型普及イベント開催が出来ず、各スクール・学校の部活動停止等の影響で競技者数の登録が停滞し、前年の数字を下回る結果となった(357人→337人)。県教育庁・スポーツ協会の補助事業においても、家庭の判断で参加を見合わせる選手も多く、底上げが上手く行えなかった。

*強化事業

国体チームの強化策については、7月の九州islandセブズに参加し、ふるさと選手と県内の大学に所属する選手との混成チームを編成し県のレベルアップは順調だったが、ブロック国体・三重国体ともに中止となり結果を残す事は出来なかった。中学生はセブズの全国大会が中止(全国ジュニアは優勝)。高校生の全国U18は7位と低迷。中学・高校はチーム数が増えたにも関わらず、全体のレベルアップには至らなかった。2月開催の北洋建設-Nanairo CUPではシニア(大学以上:ナナイロ・九産大・日経大)の強化を図ることが出来た。

22 北九州協会

事業

1) 北九州春季リーグ戦(櫻井杯)		中止
2) 北九ウエールズカップ 小学校6年生対象	4/17	ミクニワールドスタジアム北九州
3) 北九州ラグビー協会総会	5/22	書面開催
4) 北九州ラグビー祭		中止
5) 北九州市民体育祭	10/11	本城陸上競技場・運動場
規模を縮小して開催	9/13	青嵐G・九州共立大学
6) ラグビーで遊ぼう		
ラグビースクール体験会	12/11	ミクニワールドスタジアム北九州
7) 夢スポーツ事業	3/20	ミクニワールドスタジアム北九州
リーグONE観戦		

事業総括

コロナ対策による規制の為に各種主要事業を縮小しての開催となった。
特に北九州協会に所属する各スクールにとっては不満の残るシーズンとなったと思われる。

23 福岡市協会

事業

1) 市民総合スポーツ大会 社会人大会	6/27・7/4	雁の巣レクリエーションセンター
選手の安全を考慮し、試合ではなく練習会を実施		
2) 福岡市中学校大会	6/13	舞鶴公園球技場
新型コロナウイルス感染防止のため中止		
3) 市総合スポーツ大会小学生ちびっこラグビー大会	6/13	雁の巣レクリエーションセンター
新型コロナウイルス感染防止のため中止	予備日9/19	
4) 市総合スポーツ大会ミニラグビー大会	10/10	さわやかスポーツ広場
新型コロナウイルス感染防止のため中止		
5) 市総合スポーツ大会中学生タグラグビー大会	10/10	舞鶴公園球技場
新型コロナウイルス感染防止のため中止		
6) 福岡市中学校新人大会	2/13	舞鶴公園球技場
新型コロナウイルス感染防止のため中止		
7) 市民総合スポーツ大会福岡市7人制ラグビー大会	2/26・27	雁の巣レクリエーションセンター
新型コロナウイルス感染防止のため中止		
8) 福岡市ジュニアラグビー大会	3/13・21	さわやかスポーツ広場
新型コロナウイルス感染防止のため中止		
9) ラグビー普及活動	1/30	ベスト電器スタジアム
ビギナー向け！ラグビー観戦教室		

事業総括

「ラグビー文化の根づいた福岡」を目指すため、小学校低学年から社会人まで、若い世代を中心にラグビーの楽しさや運動する喜びを伝えることを目的として市協会主催の大会運営を行いました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策のため、ほとんどの大会を中止せざるを得なかった。しかしながら、感染状況が減少した時期に社会人大会(交流会)、普及での初心者向けのラグビー観戦教室が開催できたことは収穫であった。
今後の協会の課題としては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた大会運営及び各カテゴリーにおけるスムーズな世代交代と理事を引き受けただけの人材の発掘が必要と思われます。

24 南部協会

事業

1) 総会		中止(メール審議)
事業・決算・次年度事業予算報告		
2) 浮羽究真館カップ(中学生クラブチーム)		中止
3) ふれあいラグビー教室		中止
4) 南部7人制大会		中止
5) たんぼラグビー-INうきは2021		中止
6) ストリートラグビー-In Kurume		中止
7) 第30回九州高専新人ラグビー大会		中止
8) オリンピックケニア7人制ラグビー事前キャンプ準備	7/10	久留米スポーツセンター陸上競技場
9) 福岡県南部地区中学生交流戦		中止
10) 役員会		中止
11) 夏季高専・高校交流戦		中止

12) 高校ラグビー交流会		中止
13) 中学生ラグビー交流戦		中止
14) ふれあいラグビー教室		中止
15) 第7回浮羽究真館カップ(中学生クラブチーム)		中止
16) 役員会	3/26	
事業・決算・次年度事業予算報告		
17) 春季高専・高校交流戦		中止

事業総括

当初予定した福岡県南部地区7人制ラグビーフットボール大会、高専・高校交流戦、高校ラグビー交流会、中学生ラグビー交流戦、ふれあいラグビー教室、安全推進講習会、セーフティーアシスタント講習会、レフリング指針講習会、セーフティーサポーター講習会、九州高専新人ラグビーフットボール大会へのレフリー派遣、たんぼラグビーINうきはが新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。また、役員会および総会もメール審議で行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の配慮をしつつ、オリンピック ケニア7人制ラグビー事前キャンプ準備の支援を行うことができた。

また、県協会から要請のあった規約改正は、令和4年4月1日の施行を予定している。

25 筑豊協会

事業

1) 筑豊ラグビー交流会	4/11	筑豊緑地公園グラウンド
ジュニア(小学生・中学生)高校生交流会		
2) 総会	4/11	筑豊緑地公園グラウンド
令和2年度事業報告・令和3年度事業計画(案)		
3) 理事会(第1回) 令和3年度日程確認等	4/11	筑豊緑地公園グラウンド
4) 理事会(第2回) 今後の取り組みについて	12/17	庄内交流センター
5) 筑豊緑地公園グラウンド調整会議	2/5	筑豊緑地公園事務所
次年度グラウンド使用日程について		
6) 理事会(第3回) 筑豊ラグビー交流会について	3/17	穂波東高校

事業総括

本年度も筑豊地区でのラグビーの普及をめざし、「筑豊ラグビー交流会」、「ジュニア支援事業」、「タグ・ラグビー用具貸出事業」、「小学校単位でのラグビー体験会」を計画していた。交流会・支援事業は開催できたが、その他の事業については、コロナの状況等もあり需要もなく実施できなかった。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 剰 余 金	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	527,572	未 払 金	5,000
		ワールドユース交通費	0
普 通 預 金	12,153,774	競技役員講習会交通費	5,000
西日本シティ銀行	8,705,567	日本協会(タグ保険料)	0
〃 (補助金)	2,566,932		
西日本シティ銀行 (No. 3080460)	135,273		
西日本シティ銀行 (No. 3080470)	5		
福 岡 銀 行	745,997		
現金、預金計	12,681,346	預 り 金	3,702,205
		医 務 費	0
未 収 金	0	登 録 料 前 受 金	0
日本協会機関誌	0	大 西 基 金	1,000,000
TL 運 営 清 算 残	0	アジラグ協賛金	135,273
		補 助 金 (高 校 強 化 費)	2,566,932
		繰 越 剰 余 金	8,974,141
立 替 金	0	前 期 繰 越 金	
		5,478,416	
		当 期 剰 余 金	
		3,495,725	
	12,681,346		12,681,346

令和3年度 収支決算書

九州ラグビーフットボール協会 殿

福岡県協会

項 目	収 入 の 部		項 目	支 出 の 部	
	予 算 額	決 算 額		予 算 額	決 算 額
前期繰越金	5,478,416	5,478,416	(事務費)		
チーム年会費	1,600,000	1,563,000	旅費・交通費	400,000	525,000
個人年会費	4,800,000	4,758,000	通信費	300,000	272,289
チーム登録費			印刷費	200,000	223,400
賛助会費			会議費	50,000	0
参加料			制作費	100,000	0
機関紙代			消耗品費	100,000	60,828
			人件費	2,000,000	1,280,000
			賃借料	600,000	600,000
			雑費	200,000	246,507
			競技規則本	0	264,900
有料試合剰余金	2,000,000	4,503,056	公式記録集	250,000	0
九州協会交付金		0	雑損		
補助金	300,000	0	(事業費)		
寄付金	300,000	570,000	指導普及費	2,550,000	2,039,377
協賛金	440,000	880,000	強化費	3,400,000	1,851,688
雑収入	400,000	425,953	高校普及費	440,000	880,000
受取利息	100	115	負担金	250,000	250,000
			補助金	740,000	694,900
			表彰費	45,000	15,510
			試合経費	300,000	0
			次期繰越金	3,393,516	8,974,141
合 計	15,318,516	18,178,540	合 計	15,318,516	18,178,540

監 査 意 見

令和4年4月14日

令和3年度、帳票、証拠書類及び預金通帳に基づき、詳細に監査を

実施しました結果、適正に処理されていた事を報告致します。

監 事



両日信之

令和3年度収支決算書(強化特別会計)

福岡県協会

項 目	収 入 の 部		支 出 の 部		要 要
	予 算 額	決 算 額	予 算 額	決 算 額	
補 助 金	8,300,000	3,911,000	8,300,000	3,911,000	成年少女女子他(スポーツ・体協)
					成年少女女子他(スポーツ・体協)
合 計	8,300,000	3,911,000	8,300,000	3,911,000	

監 査 意 見

令和3年度、帳票、証拠書類及び預金通帳に基づき、詳細に監査を

実施しました結果、適正に処理されていた事を報告致します。

令和4年4月14日

監 事



西 口 信 之

九州ラグビーフットボール協会 殿
令和3年度 収支決算書(アジアラグビー交流フェスタ特別会計)

福岡県協会

項 目	収 入 の 部		支 出 の 部	
	予 算 額	決 算 額	予 算 額	決 算 額
前 期 繰 越 金	249,813	249,813	6,500,000	114,540
協 賛 金	6,500,000	0	249,813	135,273
合 計	6,749,813	249,813	6,749,813	249,813

監 査 意 見

令和3年度、帳票、証拠書類及び預金通帳に基づき、詳細に監査を

実施しました結果、適正に処理されていた事を報告致します。

令和4年4月14日

監 事 両 日 信 三



令和3年度収支決算書(大西寄金特別会計)

福岡県協会

項 目	収 入 の 部		項 目	支 出 の 部		要 要
	予 算 額	決 算 額		摘 要	予 算 額	
寄 金	0	0		0	0	
合 計	0	0	次 期 繰 越 金	1,000,000	1,000,000	
			合 計	1,000,000	1,000,000	

監 査 意 見

令和3年度、帳票、証拠書類及び預金通帳に基づき、詳細に監査を実施しました結果、適正に処理されていた事を報告致します。

令和4年4月4日

監 事

西日信三



理 事 改 選 (案)

【 退 任 】

理 事 (副会長) 魚 住 利 治 氏

一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会定款第27条の規定による定年。

【 新 任 】

理 事 今 林 秀 明 氏

令和4年度 事業計画(案)

1 主要事業

期 日	行 事	区 分	場 所
4月24日 ～6月5日	第75回全九州高等学校ラグビーフットボール大会県予選	高校	各高校・GA・春日公園球技場
4月28日 ～29日	サニックスワールドユース女子セブンズ大会2022	ワールドユース 実行委員会	グローバルアリーナ
4月28日 ～5月5日	サニックスワールドラグビース交流大会2022	ワールドユース 実行委員会	グローバルアリーナ
5月3日 ～6月26日	第44回福岡県中学生ラグビーフットボール競技大会	中学	舞鶴公園球技場 春日公園球技場他
未定	第3回福岡県中学生新人女子セブンズラグビー競技大会	中学	未定
5月	第60回九州セブンズ大会	強化他	熊本県
5月14日	令和4年度(一社)福岡県協会総会	総務	福岡中央銀行 本店 7階 大会議室
5月29日 6月11日	第9回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選	高校	各高校・春日公園球技場
6月5日	第2回ちびっこラグビー交流大会	普及	未定
6月19日	北九州ラグビー祭	普及	未定
7月	レフリング指針講習会(3回)	レフリー	福岡・北九州・久留米
7月10日 ～17日	第38回福岡県中学校ラグビーフットボール競技大会	中学	舞鶴公園球技場 春日公園球技場他
7月23日 ～8月13日	福岡県代表選手選出セレクションマッチ	中学	舞鶴公園球技場 春日公園球技場
7月27日 ～31日	JRFU A級コーチ養成講習会・資格取得講習会	コーチ	グローバルアリーナ
8月	太陽生命カップ(九州予選)	女子	鯛生G
8月	オープンカップ	女子	長野県菅平
8月	U18セブンズ九州予選	女子	未定
9月初旬 ～11月下旬	福岡県クラブ・社会人リーグ戦	クラブ 社会人	福岡県内各地
9月18日	令和4年度タグラグビーフェスタ	普及	平和台陸上競技場(予定)
9月～12月	九州地区対抗大会 福岡県予選	大学	各大学グラウンド
9月～11月	九州トップクラブリーグ開幕	クラブ	各 地
9月25日 ～11月12日	第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選	高校	各高校・春日公園球技場
10月	第77回 国民体育大会	強化他	栃木県
10月10日	福岡市総合スポーツ大会	普及	未定
10月9日 ～11月23日	第40回福岡県中学生新人ラグビーフットボール競技大会	中学	舞鶴公園球技場春日公園 球技場他
10月～12月	福岡県選抜練習会 選抜大会	中学	各高校・熊本・東京
11月	全九州クラブ・実業団大会決勝	クラブ	佐賀県
11月19日or20日	第59回全国大学選手権大会	大学選手権 実行委員会	ベスト電器スタジアム
12月3・4日	第10回九州ガールズフェスタ	女子	未定
12月11日 ～18日	九州10人制大会予選	高校	各高校
未定	第5回福岡県中学生女子セブンズラグビー競技大会	中学	未定
12月25日 ～1月29日	第45回全九州ラグビーフットボール新人大会県予選	高校	各高校・GA・春日公園球技場
12月～4月	NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023	リーグワン 実行委員会	ベスト電器スタジアム他

令和5年			
1月1日～5日	サニックスワールドユース交流大会2023 予選会	ワールドユース実行 委員会	グローバルアリーナ
未定	第23回福岡県中学校セブンスラグビーフットボール競技大会 (九州電力杯)	中学	九州電力香椎G
2月	第9回九州高校セブンズ	女子	未定
2月下旬	令和4年度試合日程・グラウンド調整会議	総務	福岡県ラグビー協会
2月26日	第34回小学生新人大会	普及	未定
3月5・12日	第37回福岡県中学校新人ラグビーフットボール競技大会	高校	春日公園球技場
未定	小学生卒業フェスタ	普及	未定

令和4年度 事業計画(案)

2 総会

令和4年5月14日(土)17時～ 場所:福岡中央銀行 本店 7階 大会議室・Zoomミーティング
※必要に応じ臨時総会も開催

3 理事会

理事会は、特別な事情がない限り、次のとおり定例会を開催する。
特別な事情がある場合、適宜臨時会を開催する。
【定例会】5月・8月・11月・2月・4月(予定)

4 企画委員会

重点事項

協会運営上の重要事項について、適宜協議を行って行く。

委員会の開催

委員会が必要に応じて随時開催していく。

5 総務委員会(未来プロジェクト)

年間随時開催する。

重点事項

- ・組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表する
- ・各規程の整備
- ・コンプライアンス教育の徹底
- ・財政基盤の整備(各種補助金等財源の確保)
- ・RWC2019レガシー事業の展開「アジアラグビー交流フェスタ」「ラグビー体験授業」の継続

内 容

- 1) 総会・理事会審議事項等の事前検討、実施
- 2) 各地区協会及び委員会との調整(所掌業務等の検討)
- 3) 他団体からの照会事項等の検討及び回答
- 4) 表彰業務(各種団体への表彰具申)※表彰検討プロジェクト
- 5) 「ラグビー普及部」の組織力強化
- 6) 一般社団法人としての各種規程の整備
- 7) スポーツ団体ガバナンスコードへの原則順守

事 業

- 第3回アジアラグビー交流フェスタ 未定 未定
- ラグビー体験授業 9月以降 未定

6 主管試合実行委員会

重点事項

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE2023の運営を、チームと共同実施し、スムーズな運営に努める。
また、トップ九州(開催不明)、全国大学選手権大会、サニックスワールドユース(予選会)について、スムーズな大会運営を目指していきたいと考えています。
ただ、混迷を極める「新型コロナウイルス感染症」による緊急事態宣言で、各種大会等が中止となっており、今季の事業展開にも影響を及ぼしているが、可能な限り対応して行きたいと思う。

実行委員会の開催

委員会が必要に応じて随時開催していく。

事業

1) サニックスワールドラグビーユース交流大会2022	4/28～5/5	グローバルアリーナ
3) 第59回全国大学選手権大会	11月19or20日	ベスト電器スタジアム
5) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023	12月～4月	ベスト電器スタジアム他
6) サニックスワールドラグビーユース交流大会2023予選会	1/1～5	グローバルアリーナ

7 競技委員会

重点事項

県協会主催試合、ならびに、九州・日本協会主催試合における競技全般の円滑な推進のための施設(競技場)の確保。

県内各自治体等の既存施設の中からラグビーフットボール競技がきる競技場(グラウンド)を探し、かつラグビーフットボール競技が優先利用できるよう各施設と協議を持ち、将来的には利用協定等を結び、慢性的な競技場(グラウンド)不足を解消したい。

事業

1) グラウンド調整会議事前打ち合わせ	未定	各施設等
2) グラウンド利用調整会議資料作成	未定	福岡県協会
3) グラウンド利用調整会議	未定	未定
4) 競技委員会 球技場等利用調整会議 カテゴリー割り付け	未定	福岡県協会

8 広報委員会

重点事項

① 新たな情報発信

ライブ配信も含め、動画を利用した情報を発信を行う。

② コンプライアンスの徹底

財団としてのガバナンス化を整備する。

③ 県協会HPリニューアル

CMSの導入を行い情報発信をスムーズに行えるようにする。更新スタッフの育成も行う。

④ 取材範囲の拡大

全てのカテゴリー、特に大学やクラブなどクローズアップされていないチームや大会をアピールする。

内容

- 1) LO第9節 受付・メディア対応・記録・撮影
- 2) 2021サニックスワールドユース交流大会 広報活動(写真撮影)
- 3) 福岡県中学生大会 広報活動(写真撮影)
- 4) 秋季クラブリーグ戦 広報活動(写真撮影)
- 5) 福岡県大学リーグ 広報活動(写真撮影)
- 6) 高校ラグビー決勝放映交渉 11月放送枠交渉
- 7) 福岡県高校大会 広報活動(写真撮影)
- 8) 第59回全国大学選手権大会 受付・メディア対応・撮影・SNS
- 9) 福岡県中学新人大会 広報活動(写真撮影)
- 10) 福岡県高校新人大会 広報活動(写真撮影)

9 規律委員会

重点事項

ラグビー活動の根本理念であるフェアプレーの遵守。

選手・指導者・観戦者へのコンプライアンス意識の啓蒙。

選手登録等の事務手続きにおいてもコンプライアンスの周知徹底。

選手・指導者等のスポーツ・インテグリティ遵守によりドーピング、パワハラ、否社会的行為等をなくす。

内容

- 1) 規律・コンプライアンス・インテグリティに関すること

10 レフリー委員会

重点事項

- 若手レフリーへのモチベーションアップ活動:25才以下レフリー研修
- C級レフリー全体のレベルアップ活動(特に取得1年目のレフリー)
- C級レフリーの九州協会B級認定を見据えたレベルアップ活動(継続)
- B級中堅、若手レフリーの九州協会B級トップ・レベルアップを見据えた活動(継続)
- 女子レフリー発掘(継続)
- レフリーコーチCMO level1研修

事業

- | | | |
|--|---------------|------------|
| 1) C級レフリー向け研修会(座学)
研修会 | 4月～6月(3回) | 市民センターなど |
| 2) C級レフリー筆記・実技テスト
C級レフリーの認定(MO資格制度) | 4月～6月(2回程度) | 福岡・北九州 |
| 3) 九州アカデミーセレクションへの派遣
若手レフリーを派遣 | 5月 | 諫早 |
| 4) レフリー指針講習会
日本協会レフリー指針、ルール変更伝達 | 7月(3回) | 福岡・北九州・久留米 |
| 5) C級レフリー研修会
研修会 | 8月、2月(2回) | 福岡・北九州 |
| 6) 若手レフリー発掘活動(研修)
研修会 | 8月 | 福岡県内 |
| 7) 九州レフリー委員長会議
事業・研修会打合せなど | 6月、12月、2月(3回) | 福岡、福岡、鹿児島 |
| 8) 福岡県レフリー委員会
ルール伝達、研修会打合せなど | 7月、3月(2回) | 協会事務所 |
| 9) 九州協会B級レフリー認定講習会
レフリー派遣(4名程度) | 8月中旬 | 鹿児島県 |
| 10) 九州協会B級レフリー研修会
レフリー派遣(2名) | 7月下旬 | 大分県(久住) |
| 11) 九州協会B級トップレフリー研修会
レフリー派遣(九州協会より指名) | 8月初旬 | 大分県(由布院) |
| 12) B級中堅・有望C級レフリー派遣
九州協会事業へのレフリー派遣、レベルアップ
アンダーアーマーカップ
U16U17交流会 | 9月・12月 | グローバルアリーナ |
| 13) レフリーコーチCMO1認定研修
研修会 | 未定 | 未定 |

11 コーチ委員会

重点事項

今後もコーチ資格取得講習会はオンライン講義での方法が取られますので、受講者も講師も新しい方法となり互いに学びながらの講習会となります。
 オンラインを最大限に活用したコーチング方法が必要となってきますので、情報があれば提供していきたい。
 また、ラグビー活動が再開した際の選手の体力減少をしっかりと見極め、適切な強度のコーチングを行うことを広めていく必要がある。

事業

- | | | |
|--------------------------------------|----------|-----------------------|
| 1) スタートコーチ資格認定講習会
オンライン開催 | 年間通して | オンライン開催 |
| 2) JRFU A級コーチ養成講習会
講義:オンライン・実技:集合 | 7/27～31 | オンライン
集合:グローバルアリーナ |
| 3) JRFU B級コーチ養成講習会
講義:オンライン・実技:集合 | 12/22～25 | オンライン
集合:未定 |

- | | | |
|-------------------------------|----|-------|
| 4) コーチカンファレンス
オンライン開催 | 未定 | オンライン |
| 5) 全国コーチ委員長会議
オンライン開催 | 未定 | オンライン |
| 6) JRFU C級コーチ養成講習会
オンライン開催 | 未定 | オンライン |
| 7) JRFUコーチング部門会議
オンライン開催 | 未定 | オンライン |

12 中学委員会

重点事項

- 主催大会における感染症対策の徹底
- 男子、女子選抜チームの強化
- 女子中学選手の育成・女子大会の試合数確保
- 中学委員会の人的確保

事業

- | | | |
|------------------------------|---------|-----------|
| 1) 第44回福岡県中学生ラグビーフットボール競技大会 | 5/3 | 舞鶴公園球技場 |
| 兼太陽生命カップファーストステージ | 5/4 | 春日公園球技場 |
| 新島杯九州大会兼太陽生命カップセカンドステージ予選 | 5/7 | 舞鶴公園球技場 |
| | 5/15 | 舞鶴公園球技場 |
| | 5/22 | 舞鶴公園球技場 |
| | 5/29 | 舞鶴公園球技場 |
| | 6/12 | 未定 |
| | 6/19 | 未定 |
| | 6/26 | 舞鶴公園球技場 |
| 2) 第38回福岡県中学校ラグビーフットボール競技大会 | 7/10 | 舞鶴公園球技場 |
| 兼太陽生命カップファーストステージ | 7/17 | 春日公園球技場 |
| 新島旗九州大会兼太陽生命カップセカンドステージ予選 | | |
| 3) 第5回福岡県中学生女子セブンズラグビー競技大会 | 未定 | 未定 |
| 兼太陽生命カップファーストステージ | | |
| 九州大会兼太陽生命カップセカンドステージ予選 | | |
| 4) 福岡県代表選手選考会 | 7/23 | 舞鶴公園球技場 |
| 男女福岡県代表選手の選出 | 7/24 | 春日公園球技場 |
| セレクションマッチ | 8/6 | 舞鶴公園球技場 |
| | 8/7 | 舞鶴公園球技場 |
| | 8/11 | 春日公園球技場 |
| | 8/13 | 春日公園球技場 |
| 5) 福岡県選抜練習会 選抜大会 | 10/25 | 熊本 |
| 全国大会予選 | 10月～12月 | 各会場にて練習 |
| 全国選抜大会 | 12月下旬 | 東京 |
| 6) 第40回福岡県中学生新人ラグビーフットボール大会 | 10/9 | 舞鶴公園球技場 |
| クラブ県大会シード予選 | 10/16 | 未定 |
| 中学校・クラブ交流戦 | 10/23 | 舞鶴公園球技場 |
| | 10/30 | 舞鶴公園球技場 |
| | 11/3 | 未定 |
| | 11/13 | 九電香椎グラウンド |
| | 11/20 | 春日公園球技場 |
| | 11/23 | 舞鶴公園球技場 |
| 7) 第3回福岡県女子中学生新人セブンズラグビー競技大会 | 未定 | 未定 |
| 県大会シード決め | | |

8) 九州電力杯 第23回福岡県中学生セブンスラグビー競技大会 セブンス	未定	九州電力香椎グラウンド
9) 第37回福岡県中学校新人ラグビーフットボール競技大会 中学校県大会シード決め	3/5 3/12	春日公園球技場 春日公園球技場

13 普及育成委員会

重点事項

コロナ禍の収束が前提ではあるが、各事業を安全に実施する為に準備等を万全に進めていきたい。また次年度より各スクールから委員を選出してもらい、委員会と一緒に大会運営だけではなく子供たちのプレー出来る機会の創出や指導者への講習会等も実施していきたい。
ラグビースクールU-8向け並びにラグビースクールに所属していない子供たちへのラグビーを紹介するツールとしてタグラグビーフェスタを実施し、ラグビーの普及を図る。
指導者向けの講習会を実施し、指導者が地域の小学校へタグラグビー授業へ参加することによりラグビースクールの宣伝とあわせて競技者の増加につなげたい。

事業

【ミニ】

1) 第16回ちびっ子ラグビー交流会	未定	未定
2) 第22回ちびっ子ラグビー交流大会	6/5	未定
3) 北九州ラグビー祭	6/19	未定
4) 北九州市民体育祭	10/9	未定
5) 福岡市総合スポーツ大会	10/10	未定
6) 第43回福岡県小学生ラグビーフットボール大会	10/30、11/6・13	春日公園球技場他
7) MRR認定講習会	未定	未定
8) 第34回小学生新人大会	2/26	未定
9) 小学生卒業フェスティバル	未定	未定

【タグ】

1) 福岡県ティーチャー研修会	9月予定	未定
2) 令和4年度タグラグビーフェスタ	9/18	平和台陸上競技場(予定)
3) 第19回全国小学生タグラグビー選手県大会福岡県大会	12/11	未定(筑豊地区)

14 安全対策委員会

重点事項

ウィズコロナ・アフターコロナ社会の安全対策委員会活動の再構築が必要。安全・インテグリティ講習会は日本協会伝達講習会であり県独自の講習会は開催は難しいが、SA認定講習会には実技講習は必須であり、集合型研修・講習会を企画したい。県協会のビジョンに掲げる、「ラグビーの普及」とは「安全のスポーツラグビーの普及」を意味する。

事業

1) 安全・インテグリティ推進伝達講習会	2月	オンライン(日本協会)
2) 安全・インテグリティ推進講習会	3月～5月	オンライン(日本協会)
3) セーフティアシスタント認定講習会	7月～	オンライン(日本協会)
4) セーフティアシスタント認定講習会(実技編)	7月～	県内

15 社会人委員会

重点事項

・福岡県社会人ラグビーの普及活動
・福岡県クラブラグビーリーグへの参戦及び活性化

事業

- | | |
|------------------|------------|
| 1) 福岡県クラブ連盟総会出席 | 3/26 |
| 2) 福岡県協会総会・理事会出席 | 5月中旬 |
| 3) 福岡県クラブリーグ戦 | 9月初旬～11月下旬 |
| 4) 福岡県クラブリーグ入替戦 | 12月初旬 |

16 クラブ委員会

重点事項

秋季リーグ、トップクラブリーグ、全国クラブ大会の運営方法の見直し
試合のグラウンド(芝)・練習場所の確保

事業

- | | | |
|----------------------------|--------|----------|
| 1) クラブ連盟総会 | 3/26 | 福岡県協会事務所 |
| 2) 理事会(年6回) | | 福岡県協会事務所 |
| 3) B・C級レフリー強化研修会 | 8月 | |
| 4) 公式戦前打ち合わせ会議 | 8/27 | 福岡県協会事務所 |
| 5) 秋季クラブリーグ戦 | 9月～10月 | 各会場 |
| 6) 九州トップクラブリーグ(福岡県) | 9月～11月 | 各会場 |
| 7) 全九州クラブ・実業団大会決勝 | 11月 | 佐賀県 |
| 8) 入替戦 | 12月 | 春日公園球技場 |
| 9) レフリー会議・Aリーグ会議・優勝表彰及び懇親会 | 1/28 | 未定 |

17 大学・高専委員会

重点事項

各大学の新型コロナウイルスに対する規制の違いにより、活動状況が異なるため、今後のリーグ参加チームの見通しが難しいが、定期的にチームの活動状況を確認しながら、合同練習や交流戦などの機会を設け、部員数の確保や他チームと相談できる機会ができればと考える。

事業

【大学】

- | | | |
|-------------------|--------|-----------|
| 1) <会議関係> | | |
| 第1回県学生会議 | 5月 | 福岡県協会 会議室 |
| 公式戦日程調整会議 | | |
| 第2回県学生会議 | 8月 | 福岡県協会 会議室 |
| 公式戦前会議 | | |
| 第3回県学生会議 | 12月 | 福岡県協会 会議室 |
| 公式戦試合結果確認及び反省事項確認 | | |
| 2) <試合> | | |
| 九州地区対抗大会福岡県予選 | 9月～12月 | 各大学グラウンド |

18 高校委員会

重点事項

各チームの登録人数の増加(RWCの影響による期待も含めて)
コロナウイルス感染対策を万全に整備・徹底することでの安全な大会運営
各大会の安全かつ円滑な運営
県代表チーム強化の支援

事業

- | | | |
|---|-------|---------------|
| 1) 第75回全九州高等学校ラグビーフットボール大会県予選
(4/12組合せ抽選会) | | |
| 1回戦～3回戦 | 4/24～ | 各高校 |
| 4回戦 | 5/15 | グローバルアリーナ、各学校 |
| 準々決勝 | 5/22 | 春日公園球技場 |
| 準決勝 | 5/28 | 未定 |
| 決勝・3決 | 6/5 | 春日公園球技場 |

2) 第9回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選 (5/22組合せ抽選会)	予選リーグ 決勝トーナメント	5/29 6/11	各高校 春日公園球技場
3) 第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選 (9/6組合せ抽選会)	1回戦～3回戦 4回戦 準々決勝 準決勝 決勝	9/25～ 10/23 10/30 11/6 11/12	各高校 未定 未定 春日公園球技場 春日公園球技場
4) 第45回全九州ラグビーフットボール新人大会県予選 (11/22組合せ抽選会)	1回戦～2回戦 3回戦 準々決勝 準決勝 決勝・3決	12/25～ 1/8 1/15 1/22 1/29	各高校 グローバルアリーナ 鞆ヶ谷陸上競技場 グローバルアリーナ 筑後広域公園 春日公園球技場 春日公園球技場
5) 九州10人制大会予選	予選リーグ 決勝トーナメント	12/11 12/18	各高校 未定

19 強化委員会

重点事項

令和4年第77回国民体育大会において、2種目3種別(7人制成年男子・女子、15人制少年男子)で九州ブロックの代表権を獲得し競技別第1位を目指す。

【目標】

男女総合得点第一位

【重点事業】

例年どおり実施される福岡県強化推進事業およびトップアスリート・女性アスリート育成事業および予定される新規事業などを活用し、本県代表チームの更なる強化を図る

本事業は例年同様に当協会ビジョンにおける「4.課題克服のための事業の柱」の「(3)選手の育成・強化体制、指導者育成体制の構築」に基づくもので、指導方法や指導体制の拡充と合わせた活動であり、国民体育大会を通じラグビー競技が地域スポーツの発展に寄与するもの。

事業

1) 九州セブンズ コロナウイルス感染拡大のため中止	5月	熊本県八代市 熊本県営八代運動公園
2) 令和4年度福岡県選手強化推進事業説明会 令和4年度福岡県強化推進事業説明会(未定)	5月	対面またはWEB
3) 令和4年度福岡県選手強化推進事業前期ヒアリング 令和4年度の競技団体事業計画と選手強化方針の県への説明	5月	福岡市 福岡県庁
4) 強化練習 国体候補選手による強化練習と選手セレクト	6月	福岡市
5) 強化練習 国体候補選手による強化練習と選手セレクト	6月	宗像市
6) 強化練習 国体候補選手による強化練習と選手セレクト	7月	福岡市
7) 九州アイランドセブンズ 九州及び他県チームとの交流試合	7月	福岡市 さわやかスポーツ広場

8) 強化練習 ブロック大会メンバーによる強化練習	8月	宗像市
9) 第42回九州ブロック国体 公式練習および競技開始式	8月	熊本県
10) 第42回九州ブロック国体 予選リーグ、代表決定トーナメント	8月	熊本県
11) 強化練習 本国体メンバーによる強化練習	9月	福岡市
12) 第77回国民体育大会 公式練習および競技開始式	10月	栃木県 佐野市運動公園
13) 第77回国民体育大会 競技第1日 予選リーグ	10月	栃木県 佐野市運動公園
14) 第77回国民体育大会 競技第2日 決勝トーナメント	10月	栃木県 佐野市運動公園
15) 令和4年度福岡県選手強化推進事業後期ヒアリング 令和4年度の競技団体事業の活動報告	2月	福岡市 福岡県庁
16) 強化練習 令和4年度強化指定選手による強化練習	3月	宗像市

20 メディカルソサエティ委員会

重点事項

マッチドクター裾の尾拡大プロジェクトをさらに発展させていく。
コロナの感染予防の徹底。PPEの準備などなかなか細部まで届きにくい部分を徹底していく。

事業

公式戦へのドクター派遣 4/1～3/31 福岡内各グラウンド

21 女子委員会

重点事項

*「普及事業」:女子競技者数の目標を前年比8%増の(337⇒370)とし、以下の施策を実施する。
①県内ラグビースクール女子登録者の継続(小学生から中学生)・拡大の為に、福岡県スポーツ協会の補助事業(小中学生選手強化)を活用し、「女子交流会」を実施する。
②「福岡県タレント発掘事業」と連携し他競技選手にラグビー(タグラグビー)を体験してもらい、競技転向を促す。
*「強化事業」:10月栃木国体優勝(種別総合優勝4連覇)を目指す為に、一貫指導体制を構築する。
①国体強化指定選手の早期選出と、8月ブロック国体までの間に強化練習・合宿を実施する。
②福岡県選手強化推進事業の各施策を活用し国体チームまでの一貫指導を目的に(中学)(高校)カテゴリーの強化練習会及び遠征合宿を実施し、他県チームとの対戦を実現する中で、経験値を上げ県代表の自覚を促す。
③地元成年選手強化の為に「太陽生命カップ」に繋がる「トーナメント大会」を継続実施する。

事業

普及事業(中学生)		
1) 第7回北部九州交流会	6/12	未定
2) 菅平遠征(中学女子交流会)	8月	長野県菅平
3) 太陽生命カップ(九州予選)	8月	鯛生G
4) 太陽生命カップ(全国大会)	9月	水戸:K'sデンキスタジアム
5) 第11回九州ガールズラグビーフェスタ	12/3～4	熊本
6) SANIXセブンズキャンプ	3月	グローバルアリーナ
7) Fukuoka sevens league	4月・5月・6月	福岡市内
強化事業(高校生)		
1) SANIXワールドユース	4月	グローバルアリーナ
2) オープンカップ U18強化合宿	8月	長野県菅平
3) U18セブンズ九州予選	8月	未定
4) 第4回U18セブンズ全国大会	10月	福岡:筑紫台高校

5) 第10回九州ガールズフェスタ	12/3~4	未定
6) 横浜市カップ U18強化合宿	1月	横浜市三ツ沢競技場
7) 第9回九州高校セブンズ	2月	未定
8) SAMIXセブンズキャンプ	3月	グローバルアリーナ
(成年)		
1) 北洋建設-Nanairo CUP KYUSYU WOMENS SEVENS 2023	2月	未定
(国体)		
1) 強化練習会	5月	未定
2) 強化練習会	7月	遠征合宿
3) 九州ブロック国体	8月	熊本
4) 栃木国体	10/1~4	栃木県佐野市

22 北九州協会

重点事項

- ①コロナ対策を確実にし、主要事業を通常の規模で開催を行う。
 ②各スクールで所属選手数が減少している小学校低学年について選手数を増加させる為の事業の継続
 ③スクール指導者のコーチ、セーフティーアシスタント資格取得の推進

事業

1) ラグビーを止めるな。 コロナウイルス感染症の発生により中止予定	4/9	ミクニワールドスタジアム北九州
2) 北九州ラグビー協会総会	5月	
3) 北九州ラグビー祭	6月	新門司球技場
4) 北九州市民体育祭	10/30	本城陸上競技場・運動場
5) ラグビー体験会 ラグビースクール体験会	12月	ミクニワールドスタジアム北九州
6) 夢スポーツ事業 中学生対象(ウエールズカップ)	2月	
7) 高校ラグビー7人制大会 シニア・スクール交歓試合他	3月	

23 福岡市協会

重点事項

1. ラグビー競技者の増加のため、グラウンドなどの競技環境の向上に努める。
 2. 新しい世代を対象としたラグビーの普及育成。
ラグビーに興味をもってもらうため、特に小学生を中心にタグラグビーの普及に努める。
 3. ラグビーの楽しさや運動する喜びを伝えるため、小学校低学年から社会人までの競技大会の実施や、初心者を対象とした観戦教室事業を実施していく。
 4. 福岡県のイベント開催方針に従い、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組み、安全な大会運営を実施する。

事業

1) 市総合スポーツ大会社会人大会	5/29・6/19	雁の巣レクリエーションセンター
2) 福岡市中学校大会	6/4	未定
3) 市総合スポーツ大会小学生ちびっこラグビー大会	6/14	雁の巣レクリエーションセンター
	予備日9/21	
4) 市総合スポーツ大会ミニラグビー大会	10/10	さわやかスポーツ広場
5) 市総合スポーツ大会中学生タグラグビー大会	10/10	舞鶴公園球技場
6) 福岡市中学校新人大会	2/19	未定
7) 市総合スポーツ大会福岡市7人制ラグビー大会	3/4・5	雁の巣レクリエーションセンター
8) 福岡市ジュニアラグビー大会	3/12・21	さわやかスポーツ広場
9) ラグビー普及活動	複数回	福岡市内小学校他

24 南部協会

重点事項

福岡県南部地区7人制ラグビーフットボール大会は新型コロナ感染拡大防止のため中止を蹴っている。その他に例年実施している高校ラグビー交流会、高専・高校交流戦、中学生ラグビー交流戦、ふれあいラグビー教室、九州高専新人ラグビーフットボール大会へのレフリー派遣、役員会および総会については、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、感染拡大に最大限の配慮をして上での実施方法を模索していく。また、年々活性化している浮羽究真館高校での事業をサポートするとともに、社会人・高校の振興事業を企画・立案していく。

また、令和5年1月8,22日に久留米総合スポーツセンターで開催予定の第30回全国クラブラグビーフットボール大会の支援を行う予定である。

さらに、久留米市ラグビーフットボール協会と合わせて、令和4年4月1日に規約改正を行う予定である。

事業

1) 浮羽究真館カップ(中学生クラブチーム)	4月上旬	浮羽究真館高校
2) ふれあいラグビー教室 セーフティアシスタント講習会	4月上旬	久留米高専
3) 南部7人制大会	中止	久留米高専・明善高校
4) たんぼラグビーINうきは2022	4月下旬	うきは市
5) 第31回九州高専新人ラグビーフットボール大会	5月	久留米高専
6) 福岡県南部地区中学生交流戦	7月下旬	浮羽究真館高校
7) 役員会 事業打合せ	7月下旬	久留米高専D3教室
8) 夏季高専・高校交流戦	8月下旬	久留米高専
9) 高校ラグビー交流会	8月下旬	ベストアメニティスタジアム
10) 中学生ラグビー交流戦	8月下旬	ベストアメニティスタジアム
11) ふれあいラグビー教室	11/3	浮羽究真館高校
12) 第30回全国クラブラグビーフットボール大会	1/8・22	久留米総合スポーツセンター
13) 第8回浮羽究真館カップ(中学生クラブチーム)	2月	浮羽究真館高校
14) 総会	3月下旬	久留米高専D3教室
15) 春季高専・高校交流戦	3月下旬	久留米高専

25 筑豊協会

重点事項

令和4年度も引き続き筑豊地区でのラグビー普及をめざし、「筑豊ラグビー交流会」、「ジュニア支援事業」、「タグ・ラグビー用具貸出事業」「小学校単位でのラグビー体験会」等に取り組んでいきたい。

事業

1) 筑豊ラグビー交流会 ジュニア(小学生・中学生)高校生交流会	4/10	筑豊緑地公園グラウンド
2) 総会 令和3年度事業報告・令和4年度事業計画(案)	4/10	筑豊緑地公園グラウンド
3) 理事会(第1回) 令和4年度事業日程確認等	4/10	筑豊緑地公園グラウンド
4) 理事会(第2回) ラグビー体験会について	未定	
5) ラグビー体験会 タグ・ラグビー体験会	未定	
6) タグ・ラグビー用具貸出 筑豊地区各小学校へのタグ・ラグビー用具貸出	未定	
7) 県リーグ戦	9/11・10/2	筑豊緑地公園グラウンド
8) 筑豊緑地公園グラウンド調整会議 次年度グラウンド使用日程について	未定	筑豊緑地公園事務所
9) 理事会(第3回) 筑豊ラグビー交流会について	未定	

令和4年度 収支予算書(案)

福岡県協会

項 目	収 入 の 部		項 目	支 出 の 部		要
	前 期 決 算 額	予 算 額		前 期 決 算 額	予 算 額	
前期繰越金	5,478,416	8,974,141	(事務費)			
チーム年会費	1,563,000	1,600,000	旅費・交通費	525,000	500,000	理事会交通費
個人年会費	4,758,000	8,300,000	通 信 費	272,289	300,000	切手、ゆうメール
チーム登録費	0	0	印 刷 費	223,400	200,000	コピー、封筒
賛 助 金	0	0	会 議 費	0	50,000	
参 加 料			制 作 費	0	100,000	県協会エンブレム
機 関 紙 代			消 耗 品 費	60,828	100,000	事務用品費
有料試合剰余金	4,503,056		人 件 費	1,280,000	3,000,000	事務員給与
九州協会交付金			賃 借 料	600,000	600,000	負担金
高校指導普及費	880,000	440,000	雑 費	246,507	200,000	新聞代、振込料
補 助 金	0	300,000	競 技 規 則 本	264,900	250,000	
寄 付 金	570,000	300,000	公 式 記 録 集	0	0	
雑 収 入	425,953	400,000	雑 損			
広 報 収 入	0	200,000	(事業費)			
受 取 利 息	115	100	指 導 普 及 費	2,039,377	3,420,000	
			強 化 費	1,851,688	3,400,000	
			高 校 普 及 費	880,000	440,000	
			負 担 金	250,000	250,000	
			補 助 金	694,900	740,000	下部組織補助金
			表 彰 費	15,510	45,000	
			試 合 経 費	0	300,000	
業務委託収入			業 務 委 託 経 費		7,500,000	リーグファン経費
強化特別収入		10,000,000	強 化 特 別 経 費		8,300,000	成年少年女子他(スボ健・体協)
アジアラグビー交流収入		8,300,000	ア ジ ア ラ グ ビ ー 交 流 経 費		1,000,000	福岡県
		1,000,000	次 期 繰 越 金	8,974,141	9,119,241	
合 計	18,178,540	39,814,241	合 計	18,178,540	39,814,241	

特記事項

理 事 改 選 (案)

【 退 任 】

理 事 (副会長) 魚 住 利 治 氏

一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会定款第27条の規定による定年。

【 新 任 】

理 事 今 林 秀 明 氏

一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を福岡市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、福岡県におけるラグビーフットボール競技の普及、振興及び競技力の向上を通じて、県民の体力向上とスポーツパーソンシップの涵養を図り、もって地域の青少年の健全育成とスポーツ文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ラグビーフットボールの普及発展に関する企画及び指導
- (2) ラグビーフットボールの技術向上や安全・インテグリティ対策の推進に関する企画、指導及び各種講習会等の実施
- (3) 福岡県を代表するラグビーフットボールの競技団体として、公益財団法人福岡県スポーツ協会へ加盟及びその構成員として必要な事業
- (4) ラグビーフットボールチーム及び競技者、レフリー、コーチ資格者の登録に関する事務
- (5) ラグビーフットボールの大会・試合の主催、指導及びあっせん等
- (6) 各カテゴリーにおける福岡県を代表するチームの招集、強化およびラグビーフットボールの国内大会、試合への派遣
- (7) ラグビーフットボールの競技規則等の普及、浸透等
- (8) レフリー及びコーチ資格者の養成、指導等
- (9) 記録の収録、保存及び機関誌・パンフレット等の刊行等
- (10) ラグビーフットボールに関する調査、研究、情報収集及び広報等
- (11) ラグビーフットボールに関係する団体の指導、助言、連携等
- (12) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、福岡県内において行うものとする。

第3章 会員

(法人の構成員)

第5条 この法人は、次の者(以下「会員」という。)をもって構成する。

- (1)正会員 この法人の事業に賛同する個人又は団体であって、次条の規定によりこの法人の会員となった者
 - (2)チーム代表会員 この法人が主催、主管する競技会等への参加等を主とする個人または団体
 - (3)特別会員 この法人の理事会から推薦された個人又は団体であって、特別会員になることを承諾した者
 - (4)協賛会員 この法人に援助を与えることに賛同する個人又は団体であって、次条の規定によりこの法人の賛助会員となった者
- 2 前項の正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。)に規定する社員とする。

(資格の取得)

第6条 この法人の会員(特別会員を除く。)になるようとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第7条 会員は、この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、別に定める額をこの法人に支払う義務を負う。

(退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意に退会することができる。ただし、退会しようとする者は、事前に退会届を提出しなければならない。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1)この定款その他の規則に違反したとき。
- (2)この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3)その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1)第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2)総正会員が同意したとき。
- (3)当該会員が成年被後見人または被保佐人になったとき。
- (4)当該会員が死亡し、もしくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。

(チーム代表会員の資格)

- 第11条 第5条に規定するチーム代表会員である団体は、ラグビーフットボールを競技する団体であつて、その団体の本拠が福岡県内にあるものに限る。
- 2 チーム代表会員は、日本ラグビーフットボール協会の規約に定めるチーム種別に則り、チーム登録しなければならない。
 - 3 個人のチーム代表会員は、当該会員の構成メンバーとして、日本ラグビーフットボール協会の定める競技者個人登録を行わなければならない。

第4章 総会

(構成)

- 第12条 総会は、全ての正会員をもって構成する。
- 2 前項の総会をもって、一般法人法に規定する社員総会とする。

(権限)

- 第13条 総会は、次の事項について決議する。
- (1) 会員の除名
 - (2) 理事及び監事の選任又は解任
 - (3) 理事及び監事の報酬等の額
 - (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
 - (5) 定款の変更
 - (6) 解散及び残余財産の処分
 - (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

- 第14条 この法人の総会は、定時総会及び臨時総会とし、定時総会は毎事業年度終了後3箇月以内に開催し、臨時総会は必要に応じ開催する。

(招集)

- 第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長(第21条に規定する会長をいう。以下同じ。)が招集する。
- 2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

- 第16条 総会の議長は、会長がこれに当たる。

(議決権)

- 第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条第1項に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(代理)

第19条 総会に出席できない正会員は、他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合において、当該正会員または代理人は、代理権を証明する書類をこの法人に提出しなければならない。

(議事録)

第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

第5章 役員

(役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事3名以上
 - (2) 監事1名以上
- 2 理事のうち、1名を会長、若干名を副会長、1名を理事長、1名を書記長、1名を会計とする。
- 3 前項のほか、理事の中から必要な職を置くことができる。
- 4 第2項の理事長を一般法人法上の代表理事とし、会長、副会長、書記長及び会計並びに第3項の職にある理事(以下、「会長等」という。)を、同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。
- 5 各理事について、当該理事及びその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係がある者である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。
- 6 他の同一団体(公益社団法人及び公益財団法人を除く。)の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものである理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 前条第4項に規定する会長等は理事会の決議によって選定する。この場合において、理事会は、総会の決議により、会長等の候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。
- 3 監事は、この法人の理事または使用人を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、職務を執行する。

- 2 代表理事は、法令及びこの定款の定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 代表理事及び業務執行理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条第1項に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(定年制)

第27条 理事及び監事に定年制を適用する。

- 2 定時社員総会時において、満年齢が75歳を超える場合、原則新たに理事及び監事として就任することはできないものとする。
- 3 ただし、組織体制の存続上、必要不可欠と判断された場合、その限りではない。

(役員報酬等)

第28条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事には、職務の執行に要する費用の弁償をすることができる。

(役員責任の免除)

第29条 この法人は、一般法人法第111条第1項に規定する理事又は監事の責任について、理事又は監事が同法第114条1項に規定する要件に該当する場合、同法第113条第1項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

2 理事の責任の免除に関する前項の議案を理事会に提出するには、各監事の同意を得なければならない。

(名誉会長、顧問等)

第30条 この法人に、法人の円滑な運営及び第3条の目的を達成するため、名誉会長、名誉副会長、顧問及び参与を置くことができる。

2 名誉会長、名誉副会長、顧問及び参与は、この法人に功労のあった者のうちから、理事長が理事会に諮ってこれを委嘱する。

3 名誉会長、名誉副会長及び顧問は、理事長又は理事会の諮問に応じて意見を述べることができる。

4 参与は、理事会の諮問に応じて意見を述べることができる。

5 名誉会長、名誉副会長、顧問及び参与の任期は、第25条第1項の規定を準用する。

6 名誉会長、名誉副会長、顧問及び参与は、無報酬とする。

第6章 理事会

(構成)

第31条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

(1)この法人の業務執行の決定

(2)理事の職務の執行の監督

(3)会長等の選定及び解職

(4)総会の開催の日時及び場所並びに総会の目的である事項の決定

(5)規則の制定、変更及び廃止

(招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会が定めた順序により他の理事が招集する。

(決議)

第34条 理事会の議長は、法令に別段の定めがある場合を除き、書記長がこれに当たる。

- 2 理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 3 前項の規定にかかわらず、一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第35条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

(理事会規則)

第36条 この法人の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会規則により定める。

第7章 委員会等

(委員会)

第37条 この法人の事業を推進するため、委員会を置くことができる。

- 2 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議を経て別に定める。

第8章 事務局

(事務局)

第38条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に職員を置くことができる。
- 3 事務局の職員の任免は、理事長が理事会の承認を得て行う。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を得て別に定める。

第9章 資産及び会計

(事業年度)

第39条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第40条 この法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会計が作成し、理事会の決議を経て総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第41条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会計が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書(正味財産増減計算書)
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、同項第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時総会に提出し、同項第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の承認を受けた書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(剰余金の分配)

第42条 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

第10章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第43条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第44条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第45条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第11章 情報公開及び個人情報の保護

(情報公開)

第46条 この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。

2 情報公開に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(個人情報の保護)

第47条 この法人は、業務上知りえた個人情報の保護に万全を期すものとする。

第12章 公告の方法

(公告の方法)

第48条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第13章 補則

(委任)

第49条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

附則

(定款の施行日)

第50条 この定款は、この法人の設立登記の日から施行する。

(最初の事業年度)

第51条 この法人の最初の事業年度は、第39条の規定にかかわらず、この法人成立の日から令和4年3月31日までとする。

(設立時社員の氏名または名称及び住所)

第52条 この法人の設立時社員の氏名または名称及び住所は、次のとおりである。

住所	福岡市中央区	氏名	伊藤 節
住所	福岡県糟屋郡	氏名	児島 圭
住所	福岡市西区	氏名	山口 伸之
住所	福岡市南区	氏名	西口 信三

(設立時役員)

第53条 この法人の設立時役員は、次のとおりである。

設立時理事	氏名	伊藤 節	設立時理事	氏名	児島 圭
設立時理事	氏名	山口 伸之	設立時理事	氏名	荒木 英二
設立時理事	氏名	魚住 俊治	設立時理事	氏名	城戸 英敏
設立時理事	氏名	吉田 幸正	設立時理事	氏名	松岡 英雄
設立時理事	氏名	堀内 恭彦	設立時理事	氏名	増村 政信
設立時理事	氏名	笹井 賢治	設立時理事	氏名	高井 明彦
設立時理事	氏名	山口 みどり	設立時監事	氏名	西口 信三

(法令の準拠)

第54条 この定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

以上、一般社団法人福岡県ラグビーフットボール協会設立のため、設立時社員は、この定款を作成し、記名押印する。

令和3年9月25日 設立時社員 伊藤 節 印

設立時社員 児島 圭 印

設立時社員 山口 伸之 印

設立時社員 西口 信三 印